

グループホームまこと

運営推進会議 議事録

平成 30 年 1 月 17 日 (水)

14 時～15 時

小規模多機能型居宅介護まこと 2 階

司会 西崎・石井

書記 石井

参加者

- ・登藤 好夫様 (GH ご家族様)
- ・山田 清典様 (ケアカレッジ 学校長様)
- ・伊藤 靖代様 (東部北地域包括支援センター様)

欠席者

- ・木田 孝志様 (小規模ご家族様 TEL にて欠席の連絡あり)
- ・荒谷 トキ様 (町内会婦人部 TEL にて欠席の連絡あり)

1 挨拶

2 運営推進会議とは

3 事業運営報告

- ・ 11 月・12 月のサービス利用状況 (小規模・グループホーム)
- ・ まことでのサービス内容、行事等 (小規模・グループホーム)
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 11 月・12 月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センター様・居宅支援事業所様からの声

4 質疑応答 (意見交流)

- ・ 小規模多機能型居宅介護まことより

5 その他

- ・ 小規模多機能、グループホームより
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ 今後の活動等

(2) 事業運営報告

■ 11～12 月の介護度別サービス利用状況

(11月30日・12月31日付)

要介護	11月 小規模	12月 小規模	11月 グループホーム	12月 グループホーム
要支援1	1名	1名		
要支援2	1名	2名	0名	0名
要介護1	4名	5名	1名	1名
要介護2	7名	6名	3名	2名
要介護3	6名	5名	5名	5名
要介護4	4名	3名	4名	4名
要介護5	2名	1名	4名	6名
計	26名	25名	17名	18名

西崎：新しい利用者様が12月に入り介護度に変動がありました。ですが要介護5の方が利用解約となり、人数が減少し25名となっています。

石井：11月は17名でしたが、12月末日には18名となっています。更新申請等で介護度に変動があり、入居当時要支援2だった方が要介護2に上がっています。

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

- ・11月7日(火) 外出レク(釧路空港見学)
- ・11月10日(金) 外出レク(釧路空港見学)

西崎：屋上で飛行機を観てきました。利用者様からは「飛び立つ瞬間が観れて良かった」と喜びの声が上がっていました。

- ・11月15日(水) まことのお楽しみパーティー(まこと寿司開店！！)

西崎：1階に集まり、手巻き寿司を作りました。片麻痺の方でも簡単に出来るように、ラップを使用する等工夫をしました。自分で握ったお寿司は格別で「美味しい」と喜んでいました。

- ・11月22日(水) まことクッキング～おしるこで温まろう～

西崎：高齢者の方が多い為、もち米ではなく芋団子へ変更し食べやすくしました。白玉も喉に詰まる可能性があるので外しました。ご家族様もいて、一緒におやつの時間に食べました。

- ・12月5日(火) 日本舞踊

西崎：ボランティアの方が来られ、日本舞踊を披露してくれています。

- ・12月12日(火) 外出レク『鳥取百年記念館へ行こう！』
- ・12月13日(水) 外出レク『鳥取百年記念館へ行こう！』

西崎：始めは鳥取百年記念館を予定していましたが、段差が多く車椅子では困難と判断し、遊学館へ変更しました。科学館や最上階まで行き、遊んで帰ってきました。

- ・12月20日(水) クリスマスパーティー！！

西崎：2階リビングで行い、昼食はバイキング形式で提供しています。
職員が余興をしたり、体を動かすため玉入れ等のゲームやプレゼントを渡しています。
こちらに記載はしていませんが、15日(土)には消防訓練を行いました。夜間想定とし、職員各階1人ずつでした。ですが、サイレンが鳴るとお互いの声が聞こえない事が以前の訓練ではあり、今回はジェスチャーを交えて行いました。時間は約5分かかりもう少し早く出来るように、次回への反省点としてあげています。

■グループホームまことでのサービス内容・行事など

- ・ 11月 7日(火) ナルクボランティア

石井：毎月第1火曜日にはナルク様が来てくれ、紙芝居やゲームを行ってくれます。
人気だったのがフラダンスで、一緒に踊っていました。

- ・ 11月 8日(水) 昼食作り～お好み焼き～

石井：利用者様に種を流しこんでもらい、ひっくり返しお皿に移すまでを行ってもらいました。焼きたてを食べられたので、皆さん喜んでいました。

- ・ 11月 14日(火) 保育園児交流会

石井：まこと保育園の園児さんが遊びに来てくれました。普段無表情な利用者様も子供達の元気な姿を見て笑顔になったり、手招きをして近くまで呼んでいました。子供達も人見知りしなく楽しんでくれていました。また来てほしいと思っています。

- ・ 11月 16日(木) 避難訓練(夜間想定)

石井：GHも夜間想定で行いました。今回は新人さん対象で行ったため、少し戸惑いがあり時間がかかってしまったそうです。なので、次回の反省点として取り組んでいきたいと思っています。

- ・ 11月 21日(火) 秋の大運動会

石井：レク委員がこの日の為にゲーム用品を手作りして準備を重ねてきました。くす玉割や玉入れなど盛り上がり、景品にはドーナッツを用意しました。

- ・ 12月 7日(木) クリスマス会

石井：1・2階合同で体操・歌練習をしたのち昼食をバイキング形式にして食べました。おやつの中にはショートケーキを提供し、「美味しい」と大きなケーキも皆さん完食されていました。

- ・ 12月 14日(木) 誕生日レク～八宝園～

石井：誕生日月には利用者様の希望に沿って外食へ行っています。今回は「ラーメンが食べたい」と言われていまして、本人様の思い出のお店に行ってきました。ラーメン・チャーハンセットを頼まれ、完食に近い程食べられていました。

- ・ 12月 17日(日) まこと大忘年会

石井：今年はたくさんのご家族様が参加して下さり感謝しています。利用者様も家族と一緒に楽しみ、喜んでいました。

- ・ 12月 31日(日) 年越し

石井：年越しと記載はしていますが、何かをしたという事ではありません。昼には年越しそばを、夜は生ちらしとオードブルを提供し1年の締めくくりをしました。

日常の家事の手伝いやカラオケ、作品作りなども随時行っています。

■利用者ご家族からの声

小規模

- * 小規模多機能から帰ってくる度にオムツがよれています。帰る前にきちんと見てくれているのでしょうか？ (K.K様 家族より)

西崎：この方は要介護5で、寝たきりの方です。男性で体格の良い方です。まことでは傾眠が多く、車椅子生活でずってしまう事もあり職員が姿勢を直す事があります。始めそれが原因と考えていましたが、帰る際にベッド上にてオムツ確認をしていると職員から声があり原因が特定できていません。ご家族様には説明をしまして、送迎車内でもずってしまう事もあるため滑り止めシートを使用し現在はズレが少ないと評価をしています。

- * 父も母もここで沢山お世話になって大変ありがとうございました。次は自分の番ですね。その際は、どうかよろしくお願いします。(H.S様ご家族より)

西崎：以前ご夫婦でまことを利用されておりました。奥様が小規模で、旦那様が緑ヶ岡デイサービスを利用されておりました。ですが、旦那様が体調を崩し在宅生活は難しくなり当事業所のロングステイを利用開始しました。車椅子生活でしたが歩行器を使用しリハビリを実施した所、12月頃には歩けるようにまで回復しておりました。ですが、12月末に緊急搬送され肺炎でご逝去されました。娘様は「最後にトイレに自分で行けるようにまで回復したので良かったかなと思います」と声があり、その後「次は私の番ですね」と言われ印象的だったのでご紹介させて頂きました。

- * 好きな時に利用できるのも、一人暮らしの自分としてはとても安心して過ごしております。来年度もどうかよろしくお願ひいたします。(T.O様 本人様より)

西崎：近辺の市営住宅にお住いの方です。一人暮らしで耳が遠いですが、ほぼ自分で出来る方でたまに物忘れがあります。姪様が様子を観に行かれていて、通いと月に1・2回訪問をし身の回りの掃除等を行っています。宗教等に入っており、自分でスケジュールを立てて生活されているため「スケジュールに

合わせて利用できないか」と希望があり、調整し利用されています。

グループホーム

- * (家庭内暴力があった) 父とご飯を一緒に食べる機会を考えているんですが、どうだと思いませんか。(I様 ご家族様より)

石井：奥様がGHにて生活されています。旦那様からの家庭内暴力があり、自殺未遂をされ避難をしてきた延長線で来られた方です。旦那様はGHにいる事は知らず、奥様も穏やかに過ごされていました。ですが、息子様より「母と父を会わせて話をしたい」と話がありご本人は「会いたくありません」と断っていたんですが、息子様と娘様で仲介する形で病院内にて会う事になりました。帰ってきたご本人は「もう2度と会いたくありません」と言われていましたが、年末に食事のお話がありました。私達の判断ではなく、ご本人とお話をしてもらい「会いたくない」と言われ話はなくなりました。ですが旦那様が納得されず、ケアマネジャーからGHへ電話があり状況を聞かれました。旦那様と石井が電話口で話をし、奥様の気持ちを伝えています。

- * 父がご迷惑をかけてすみません。家の事を忘れてくれればいいんですけど…(A様 ご家族様より)

石井：入居から半年もたっていない方です。入られてから認知機能が大幅に低下してしまいました。帰宅願望が強く、以前の施設では上靴を履いていたらしく靴を求める訴えが多く聞かれています。スタッフについて訴える事が多く、私達も9名の方をケアしているため、ついてあげられない事も多々ありました。様子を家族様へ相談した際に「こちらから電話をかけてみます」と話を頂き、毎日16時にご本人と電話で話をしてくれています。ですが、この利用者様の奥様も体調を崩されました。そちらの看病もされており、娘様の心身の疲労感からの言葉です。現在は夜間眠れず、薬調整中です。

- * (お嫁様より電話にて) 夫(息子)が亡くなりました。ですが、母には伝えないで下さい。(T様 ご家族様より)

石井：こちらは開設当初から利用されている方です。お嫁様とお孫様との関係があまり良くなく、昔はお嫁様も息子様と一緒に面会へ来られていましたがぱたりと来られなくなってしまいました。息子様が体調を崩され、いつ亡くなるかわからない状態でした。ですが、ご本人様は知らされていませんでした。去年息子様が亡くなった事を電話で伝えられ、ご本人は最近見ない息子様に対して「忘れちゃったんだろうか」「(写真を見て)可愛かったんだよ～」と笑顔で話をしてくれている姿をみて、何も言えないスタッフは虚しさを感じています。

* 職員の皆様にお世話になり、母も穏やかに生活させて頂いています。ありがとうございます。
います。~お葉書にて~ (T様 ご家族様より)

石井：こちらの方は、時々自宅へ外泊に出かける方です。ですが、自宅で娘様と喧嘩をして夜にGHへ帰ってくる事がありました。ご本人にとっては現在の家は貝塚のホームだと思っているようで、自宅につくと「私の家ではないから帰る」と訴えがあったそうです。ホームで過ごしているお母様が一番穏やかに生活をしている姿を、家族様も最近になって理解されております。

西崎：この辺で皆様のご意見を頂きたいと思います。登藤様からお願い致します。
登藤様：昨年の忘年会はお世話になりました。家内と共に楽しませて頂きました。いつもお世話になり感謝しております。

西崎：ありがとうございます。続きまして、山田先生お願い致します。

山田様：いつも読ませて頂いて、皆さんが頑張っている事が伝わってきます。利用者様の家庭内の事を全てわかればスムーズにいくと思いますが、中々簡単な事ではないですよ。学校の校長として言わせて頂きますと、1日でも1カ月の内容でも細かに情報提供することが大切だと思うんです。怠ってしまうと「聞いてない」「知らない」という言葉が出てきてしまうんです。JRの事故も状況は変わっていなくても30分に1回でも情報を伝えていけば、ささないな事でも理解を得る事が出来ると思うんです。何もないと不安やクレームが起きると思うんです。管理上の事で言うと家庭内のことは解決できないんですが、絶えず情報提供をする事でクレームを抑える事が出来ると思います。

西崎：ありがとうございます。では、伊藤所長からお願い致します。

伊藤様：一つお聞きしたい事がありまして、夜間想定避難訓練についてです。新人さんメインと言われていましたが、ベテラン職員さんも近くで見守っていたのでしょうか。やり方を教えて頂きたくて...

石井：午後1時から夜と仮定して行ったので近くに職員はいました。

伊藤様：実際夜ではなく、昼間なんです。ね。

西崎：そうですね。その日は職員がほぼ全員集まって参加しています。終わった後はみんなで話し合いをします。利用者様には実際に部屋に戻って頂いて、通いの方は対象外なので訓練が始まる事を伝え待機してもらっています。

伊藤様：ありがとうございます。あと利用者様の声からで、家族様と色々話をしていると、思うんです。その中でほっとしたり、嬉しくなったりすると思うんですが、これからも関わっていきたいなと思うからこそあげている言葉なんだと思うとじーんとするものがありました。

西崎：貴重なご意見ありがとうございました。

	小規模 11月	小規模 12月	G H 11月	G H 12月
アクシデント	0件	0件	0件	0件
インシデント	1件	2件	1件	2件
ヒヤリハット	1件	1件	2件	5件

西崎：当事業所のインシデントは薬の事故が多く、今回は食前薬を忘れ食間や食後服用しました。他、利用者様が歩いている時に躓き転倒しましたが骨折には繋がらずインシデントとしてあげています。ヒアリでは車椅子のブレーキを掛け忘れたまま立ってしまった事をあげています。

石井：インシデントは11月1階で行われる合同歌練習に参加するため2階利用者様が移動していましたが、1人の自立の方をフロアに置き去りにしてしまった事です。転倒等の大きな事故は起こりませんでしたが、インシデントとしてあげています。12月が女性用の電気カミソリで皮を巻き込んで切れてしまった事や車椅子から利用者様が自分で動いて降りてしまった件をあげています。ヒアリでは車椅子に乗っている方の独歩をあげています。

■ 地域包括支援センターからの声

伊藤様：高齢者様の相談窓口ですが、元気な方も多いんです。子育て世代や障害がある方などいろんな方と手を取り合っていないと、これからは課題を解決出来ないと思っています。地域のサロンなど交流の場を広げていく事に力を尽くしていきたいと思っています。あとは、まことさんと保育園を作り子供さんとの交流が出来ていて素敵だなと思って聞いていました。

西崎：保育園の方も園児が増えているようで、需要が増えているようです。保育園でレクに他事業所の職員が協力したりと、繋がりは多くあります。

4 質疑応答（意見交流）

・小規模多機能型居宅介護まこと

西崎：資料をお配りします。現在嘔吐物の感染予防に力を入れていて、内情の話をさせて頂きますと昨年にインフルエンザが小規模で流行りました。2階のアシストリビングは閉鎖いたしました。始めは1人の利用者様でしたが、一気に感染が広がり利用者様が5名、職員が3~4人が集団感染し1週間閉鎖していました。今年はありませんが、胃腸炎が職員間で流行ってしまっていて感染予防の勉強会も行いました。嘔吐物の処理方法としては感染予防グッズを用意しています。各階1個ずつあります。お手元の資料の中で「窓を開ける」という項目がありますが、窓を開けると菌が散らばってしまうため事業所ではこの項目は行わないようにしています。嘔吐物は実際2m近く飛び散るため、対

応した職員が感染しないように手袋を 2 重にしたり対応を工夫しています。
皆様に周知したくお話しさせて頂きました。

伊藤様：窓を開けて外に出した方がいいと思っていましたが、風の流れて散らばってしまうという事なんですよ。

西崎：そうですね。窓を開けるのは一番最後で、匂いもあるので開けたい気持ちもありますが、処理をしてからが正しい方法ですね。GHではどうですか？

石井：各階にバケツの中にグッズ一式を入れて用意をしています。ノロ等が流行る時期には感染委員がいるので、職員全員が受けられるように嘔吐物処理の勉強会を開いています。実際に起きた際に対応できるか不安な職員もいると思うので確認も含めて、マニュアルを用意して周知・徹底しています。

西崎：一番怖いのは集団感染で職員から利用者様に移る事がないようにしたいですね。

登藤様：これは風邪なんですか？

西崎：そうですね。風邪をひいて熱はあるけど、休めないから出勤してきたなどですかね。

登藤様：病院に行った時に、若い子がマスクをしてはいましたが強く咳をしていました。周りの方は距離を置いていましたけど、ただの咳だと思って油断していたら怖いですよ。

西崎：そうですね。

山田様：職員の生活の仕方。人が多い場所へ行かない、湯冷めをしない等の勉強会も必要になってくるかもしれませんね。若い方が多いと思うので色々な交流があると思うので、工夫が必要になってくるかもしれませんね。

西崎：ありがとうございました。

5 その他

・今後の活動について

(小規模多機能)

1月3日(水) 初詣

1月11日(木) 書初め

1月31日(水) 工作～絵馬作り

2月2日(金) 節分・豆まき(恵方巻きロール)

2月15日(木) 工作レク～

2月22日(木) 大地みらい作品展見学

(グループホーム)

1月 新年カルタ・人生ゲーム

初詣(八幡神社)

誕生日レク

2月 節分～豆まき～

大地みらい作品展見学

ボランティア等

次回開催予定日 平成30年3月28日(水) 14時 小規模まこと 2階リビングにて開催